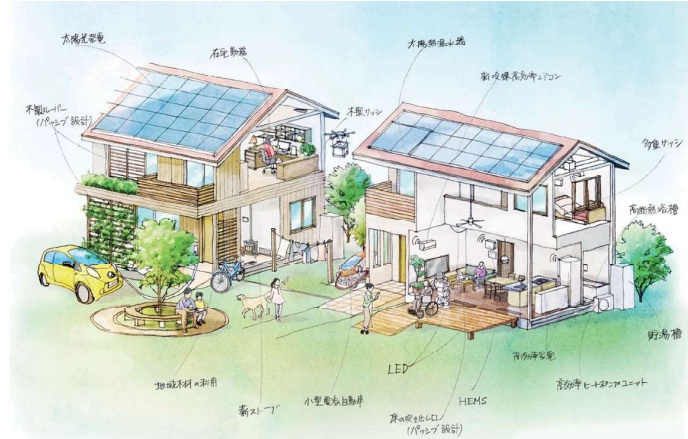




..... 長期大幅削減の絵姿(家のイメージ) .....



環境省「長期低炭素ビジョン」平成29年3月

**建物は  
省エネかつ快適**

- 新築の建物は、ゼロエミッション(最終的に廃棄物をゼロにする)を達成。
- 新築住宅は、資材製造や建設段階から解体・再利用までも含めたライフサイクル全体で、カーボン・マイナスとなる住宅(ライフサイクル・カーボン・マイナス住宅)も普及。
- 既築の建物も、断熱リフォームや省エネ・創エネ機器導入が普及して、光熱費削減だけでなく快適性や健康性なども向上。

**使うエネルギーは  
再エネで創る**

- 住宅の太陽光パネルなどで発電した再生可能エネルギーにより主なエネルギーが賄われて、需要超過分のエネルギーは融通や蓄電や水素として貯蓄。電気自動車やヒートポンプ式給湯器等を電力の需要調整に活用。
- 生活でのエネルギーの使用状況などの情報が簡単に分かり、無駄のないスマートなライフスタイル。

**ICT技術が  
ライフスタイルを  
変える**

- ICT(情報通信技術)の進展により、ペーパーレス化や在宅勤務などが一般化。個人のライフスタイルに応じた労働形態が可能となり、労働生産性・炭素生産性(付加価値額(例えば売上)÷二酸化炭素排出量)がともに向上。
- ICT技術を活用した生産性の向上はオフィスワークのみならず、例えばものづくり、インフラ産業や介護福祉などで活用され、効率性の向上・安全性の向上・健康長寿社会に。

環境省「長期低炭素ビジョン」(平成29年3月)より作成